

ホテル、宿泊施設、短期レンタル施設の再開手順：付録 P 2020年6月12日金曜日より有効

最新の更新

2020/6/29: 雇用主が陽性症例のクラスターを報告した場合に、公衆衛生局がとる措置の明確な説明を挿入しました。

2020/7/1: 客室の清掃と消毒をに関する説明を明確にしました。

2020/7/14: 従業員休暇の福利厚生情報が追加されました。

2020/7/17: 従業員と顧客のフェイスカバーの着用と症状の確認に関する方針を明確にするために更新されました。（変更部分は黄色で強調表示）

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、特定の施設が安全に営業を再開できるよう、科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。以下の要件は、州衛生担当官命令により、営業再開を許可されたホテル、宿泊施設、および短期産業に特化したものです。

大会議場、宴会場、またはコンベンションセンターがあるホテルおよび宿泊施設では、該当する場合、衛生担当官命令によりこれらのタイプの施設の変更または完全な運営の再開を許可されるまで、これらの施設は引き続き閉鎖されます。

マッサージ、フェイシャル、ワックス、ネイルサロン、スチームルーム、サウナ、ホットタブなどのスパサービス、および遊び場は、衛生担当官による変更または完全な運営の再開が許可されるまで引き続き閉鎖されます。

プロパティマネージャー、タイムシェアの運営者、およびその他のレンタルユニットの所有者と運営者は、空いているユニットのみを貸出すことができ、別途の通知がない限り、空いている住居内の部屋やスペースを貸すことはできません。運営者が物理的に不在の間に借りている、または共有の施設を使用する必要のない独立した外部の出入り口がある住宅またはユニットは、空いているユニットと見なされます。

ホテルおよび宿泊施設の運営に関連する以下の追加の手順にも従う必要があります。

- レストランおよびバー
- フィットネスセンター
- 美容室
- 公共プール
- 小売施設
- オフィススペース
- ゴルフコース場

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト <http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/> をアクセスして、本文書が更新されているかどうかご確認ください。

本チェックリストの内容

- (1) 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践
- (2) 物理的距離を確保するための対策

- (3) 感染防止対策
- (4) 従業員および市民とのコミュニケーション
- (5) 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべての事業は、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されていない理由を説明する必要があります。

事業名:

施設住所:

消防法に基事業名づく最大収容人数:

一般公開されている場所の概算総敷地面積:

A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- 脆弱なスタッフ（65歳以上、妊娠中の人、慢性的な健康状態の人）は可能な限り在宅勤務を行い、懸念事項については、医療提供者または産業保健サービスと話し合っ、職場に復帰するかどうかを適切に決定する。
 - 従業員の自宅待機を財政的に容易にする受け取り可能の雇用主または政府支援の休暇給付に関する情報。 [病気休暇およびCOVID-19に関わる労災補償を支援する政府のプログラム](#)に関する追加情報をご参照ください。これには [家族第一コロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、および [知事の行政命令 N-62-20](#)に準拠する労災補償給付に対する従業員の権利、COVID-19の労働に関わる推定に関する情報が含まれます。
- すべての従業員に、病気の場合、またはCOVID-19感染者に曝露した場合、出勤しないよう指示している。
- 従業員の自宅待機を財政的に容易にする受け取り可能の雇用主または政府支援の休暇給付に関する情報が提供されている。 [病気休暇およびCOVID-19に関わる労災補償を支援する政府のプログラム](#)に関する追加情報をご参照ください。これには [家族第一コロナウイルス対策法](#)に基づく従業員の病気休暇の権利、および [知事の行政命令 N-62-20](#)に準拠する労災補償給付に対する従業員の権利、COVID-19の労働に関わる推定に関する情報が含まれます。
- 一名以上の従業員がCOVID-19に対して陽性反応が出た場合や、一致する症状が出たことを知らされた際、雇用主は) [感染者の自宅隔離](#)を促し、職場で曝露した全従業員の即時 [自己検疫](#)を促す計画または手順を準備している。雇用主の計画は、追加のCOVID-19管理対策が必要となりえる職場での新たな曝露があったかを判断するため、検疫中の全従業員がCOVID-19検査へのアクセスや、検査を受ける手順を検討する必要がある。 [職場でのCOVID-19への対応](#)に関する公衆衛生局のガイダンスを参照している。
- 14日間以内に職場内で3件以上の症例が確認された場合、オーナー、マネージャー または責任者はこの発生を公衆衛生局 (888) 397-3993または(213) 240-7821に報告する。職場でクラスターが特定された場合、公衆衛生局は、感染対策の指示と推奨事項、技術的支援、および職場固有の対策の提供を

含むクラスターへの対応を開始する。公衆衛生局のケースマネージャーがクラスターの調査の担当に割り当てられ、施設の対応への指示をサポートする。

- 従業員が職場に入る前に症状の確認を行っている。症状の確認には咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、その他の症状、および従業員が過去14日間にCOVID-19への感染が判明している人との接触があったかどうかを含む必要がある。これらの確認は遠隔か、従業員の出勤時に直接行うことができる。可能であれば職場で検温も行う。
 - 勤務中に他者と接触する従業員に鼻と口を覆う布製フェイスカバーを無料で提供している。就業中他者と接触するまたはその可能性がある従業員は常時フェイスカバーを着用する。医療従事者からフェイスカバーを着用しないように指示されている従業員は、状態が許す場合に限り、州命令に準拠した下端にドレープが付いたフェイスシールドを着用する。ドレープはあごの下にフィットするものが好ましい。一方向弁付きのマスクは使用しない。個人オフィスや立った時の高さよりも高い仕切りで仕切られた作業スペースに一人で勤務する従業員は布製フェイスカバーを着用する必要はない。
 - 従業員は、フェイスカバーを毎日洗濯、または交換することを含め、フェイスカバーの適切な使用について指示されている。
 - 客室に入らなければならない客室清掃員やその他の従業員は、布製フェイスカバーを着用するように指示されている。
 - 従業員は、こまめな手洗い、手指消毒剤の使用、適切な手袋の着用など、手指衛生の実践が順守されるように指示されている。
 - 従業員はこまめに手を洗うため、時間をとることが許可されている。
 - 従業員に咳やくしゃみはティッシュで覆うことを促す。使用済みのティッシュはゴミ箱に捨て、石鹸と温水で20秒以上手を洗う。
 - すべての従業員、ベンダー、および配送担当者には、物理的距離の維持、および他人の周りにいる場合のフェイスカバーの着用が指示されている。
 - 賃金と時間の規定に準拠して、休憩室で常に従業員の間で6フィートの距離を保てるよう、休憩時間をずらしている。
 - 従業員は、指定された休憩室、または職場内や他者と共有されていない個人オフィス内以外での飲食は禁止されている。
 - 従業員は、すべてのCOVID-19のポリシーと手順について適切にトレーニングされている。
 - すべての作業エリアのリスク評価を含む、書面による職場固有のCOVID-19計画が作成されている。
 - 計画を実装するための担当者を指名する。
 - 従業員は、適切に清掃および消毒製品を使用するために、Cal / OSHAの安全使用の要件を含むトレーニングを受けている。従業員には、これらの製品の使用に必要なエプロン、手袋、その他の防護具が提供されている。
 - 休憩室、トイレ、その他の共用エリアは以下のスケジュールに従って頻繁に消毒されている。
 - 休憩室 _____
 - トイレ _____
 - その他 _____
 - 従業員は消毒剤および関連用品を以下の場所で利用できる。
- _____
- すべての従業員はCOVID-19に対して効果的な手指消毒液を以下の場所で利用できる。
- _____

- 各従業員に本手順のコピーを配布している。
- オプション - その他の対策の説明

B. 物理的距離を確保するための対策

- 顧客と従業員が列を作るエリアを含め、従業員、顧客および公衆の間で少なくとも6フィートの物理的距離を確保するための対策を講じる。
 - これには、物理的な仕切りまたは視覚的な目印（たとえば、フロアマーキングや、従業員やゲストが立つ場所を示す標識）の使用が含まれる。
 - これには、チェックイン、チェックアウト、エレベーターロビー、コーヒーショップとダイニング、タクシーとライドシェアリングを待つための列が含まれる。
 - 従業員と顧客との間に6フィートの物理的なスペースを確保できないすべての取引カウンターに、物理的な仕切りを設置している。
- 顧客は、つかえをして開けてあるドア、自動ドア、または頻繁に手洗いや適切な手指消毒剤を使用している従業員が手動で操作するドアから出入りする。
- ピーク時の列づくりの手順が実装され、該当する場合はロビーの出迎え係もこれに含まれる。顧客は、グループ間で少なくとも6フィートの物理的距離を確保できるように列をつくる。
- 公共スペースに設置されているすべての家具は、社会的距離のガイドラインに沿ってに配置されている。
- 従業員間の距離を適切に保つために、従業員の休憩エリア、制服管理エリア、トレーニング教室、共有オフィススペース、従業員サービスウィンドウ、およびその他の高密度エリアでは、物理的距離の対策を実施している。
 - 可能であれば、日よけと座席を備えた屋外休憩エリアを設け、従業員間の物理的距離を確保する。
- 客室サービス、ランドリーおよびドライクリーニングサービス、アメニティの配送は、可能な限り非接触型の集荷および配送手順を使用して行う。
- 客室係は、利用客が不在の場合にのみ客室サービスを提供する。
- 従業員の勤務シフト前のミーティングは、バーチャル方式、または従業員間の適切な物理的距離をとることが可能な場所で行う。
- 従業員用の廊下やサービスエレベーターの交通量を最小限に抑えるために、従業員の到着時間をずらしている。
- 従業員は、トイレや通路などの人通りの多い場所に集まることを控える。お互いを通り過ぎることを避けるために、可能であれば一方通行の通路を設ける。
- オフィススペース、ロビー、フロントデスクのチェックインエリア、ビジネスセンター、コンシェルジュサービスエリア、およびその他のスペースを可能な限り再構成して、ワークスペースと利用客が少なくとも6フィートの距離を確保できるようにする。
- 6フィートの物理的距離が許容できないエレベーターでは、一回当たりの定員は4名以下、または一世帯に制限する。エレベーターに乗る人は全員布製フェイスマスクを着用する。
- 従業員は、物理的距離を維持できない握手や同様の挨拶を避けるように指示されている。
- 人と人が接触する物理的なオフィスへの商品の配達は、可能であれば排除する。他人のペンやクリップボードには触れないようにする。

C. 感染防止対策

共用スペース（チェックイン、ロビー、エレベーター、その他）

- HVAC システムは正常に機能し、可能な限り最大限に換気を良くしている。共用スペースや客室の換気を増やしている。ポータブル高効率空気清浄機の設置、建物の空気フィルターを可能な限り最高効率のものへアップグレード、外気量を増やし職場内の換気を増やすためにその他の変更を加えることを検討する。
 - ポータブル高効率空気清浄機の設置や、建物のエアフィルターを最高の効率にアップグレードするなどの変更を検討し、外気量を増やし、オフィス、客室およびその他のスペースの換気を増やしている。
 - 稼働されていなかった施設または客室の場合は、営業を再開する前に5分間温水と冷水を通水して、施設の配管内の古い水を新鮮で安全な給水に置き換える。
 - [環境保護庁 \(EPA\) 承認リスト](#)にあるCOVID-19に対して使用が承認された製品を使用し、製造元の使用方法に従う。
 - 喘息に安全な成分を含むNリストの消毒製品が選択されている。
 - 顧客は、可能であれば、つかえをして開けてあるドア、自動ドアから出入りする。
 - 顧客が施設に入る前に症状の確認を行う。症状の確認には咳、息切れ、呼吸困難、発熱または悪寒、その他の症状、これらの確認は、直接行うか、オンラインチェックインシステム、またはこれらの症状のある顧客は施設内に入場してはならないことを通告する看板を施設の入口に掲示するなどの方法で行う。
 - 手指消毒剤ディスペンサー（可能な場合はタッチレス）を、主要な利用客および従業員の入口と、私道、受付エリア、ホテルのロビー、レストランの入口、会議およびコンベンションスペース、エレベーターの踊り場、プール、サロン、エクササイズエリアなどの連絡エリアに設置している。
 - 施設に到着した顧客に、施設内または施設の敷地内では（該当する場合は、飲食中を除いて）常時フェイスカバーの着用が必要であることを説明している。これはすべての成人と2歳以上のお子様にも適用される。医師よりフェイスカバーを着用しないように指示をされている顧客はこの要件から免除される。従業員と他の顧客の安全をサポートするために、フェイスカバーを持参していない顧客が利用できるものを用意する。
 - 布製のフェイスカバーの着用を拒む顧客へのサービスは拒否し、退去を求める。
 - 子供を連れて来店する顧客は、子供が親の隣から離れないことを確認し、他者や自分の物ではないものに触れないようにして、年齢によってはフェイスカバーを着用させる。
 - 配膳係、給仕人、および顧客が使用するアイテム（汚れたコップ、皿、ナプキンなど）を運ぶその他の従業員は、物を取り扱う前に使い捨て手袋を着用する。
 - キャッシュレス会計が奨励される。飲食施設にとってそれが妥当であれば、顧客が自分でクレジットカード/デビットカードをスワイプし、カードリーダーは各ゲストが使用するたびに完全に消毒する。
 - オプション - その他の対策の説明（例：シニアのみの時間を提供する、ピーク時以外の販売に報奨を与える）
-
- チェックイン、支払い、部屋へのアクセス、特別なサービスを依頼するために、可能な限りタッチレス技術が実装されている。
 - キーカードは使用後に消毒する。
 - ホテル利用者は、可能な限り、氏名、電話番号、メールアドレスを含む利用客名簿に登録する。これは、登録時に行うこともできる。

- 電話、タブレット、ラップトップ、デスク、ペン、その他の作業用品は、シフト前、シフト中、シフト後、または機器を新しい従業員に渡す場合は常に洗浄、および消毒する。これには、電話、ラジオ、コンピュータ、その他の通信デバイス、決済端末、キッチン用品、エンジニアリングツール、安全ボタン、宿泊客の勘定書、ハウスキーピングカートと清掃用具、鍵、タイムレコーダー、およびその他すべての直接接触するアイテムが含まれる。
 - ワークステーション、デスク、およびヘルプカウンターには、利用客を直接サポートするすべてのスタッフ用に手指消毒剤や消毒用ワイプ、個人用手指消毒剤などの適切な衛生用品が用意されている。
 - 掃除機にはHEPAフィルターが装備されている。従業員は、可能であれば、ほうきで床を掃除するのではなく、掃除機を使用する。
 - ホテルのロビー、フロントのチェックインカウンター、ベルデスク、休憩室とランチエリア、更衣室、集荷エリア、キッチン、および階段、階段の吹き抜け、手すり、エレベーターのスイッチなどの人の出入りのある場所など、人通りの多いエリアでの徹底的な清掃を実施する。
 - 一般的によく使用される物の表面は昼夜を問わず清掃および消毒する。これにはドアノブ、自動販売機、製氷機、照明スイッチ、電話、洗濯機と乾燥機のドアとスイッチ、手荷物カート、シャトルバスのドアノブ、トイレ、手洗い設備などが含まれる。
 - 従業員が勤務中に清掃作業を実施するための時間を割り当てている。
 - 手動操作の製氷機は閉鎖する。
 - トイレは、EPA承認の消毒剤を使用し、以下のスケジュールに従って定期的に清掃および消毒する。その際、製造元の使用方法に従う。
-
- 従業員は、車やタクシーのドアを開けないように指示されている。
 - バレットサービスドライバー、手荷物係、ハウスキーパーは、勤務中に定期的に手を洗うか、適切な手指消毒剤を使用する。
 - バレットサービスが提供されている場合、バレットサービスドライバーはフェイスカバー、手袋を着用し、社会的距離のガイドラインを遵守する。
 - キーホルダーはビニール袋に入れる。
 - ハンドル、イグニッションボタン、ドアノブ、シフトは、承認された消毒用ワイプで拭く。
 - 利用客には、係員による清掃および消毒手順を通知する。
 - バンまたはシャトルサービスを提供する場合は、利用者間の座席エリアの掃除や消毒など、バレットサービスの要件を遵守する。
 - セルフパーキングのオプションの利用が推奨される。

客室

- ベルマン/ポーターは、ゲストの荷物を取り扱う際には、フェイスカバーを着用し、手袋を着用する。可能な場合、手荷物の配達をゲストに客室内に入れてもらう。
- 客室清掃員は、清掃時に利用客の所持品との接触を最小限に抑える。
- 客室係は、部屋を整備するときに空気の循環を高めるために、可能な場合は、換気システムの操作およびまたは窓を開ける。
- 客室係は、必要な予防策を確実に実行し、必要に応じて利用客間の部屋のより徹底的な清掃と消毒を実施できるように、部屋を掃除するための追加の時間を取ることが許可されている。
 - ハウスキーパーには、清掃のための適切な防護具が提供されている。

- 毎日の清掃中に、客室内の物の表面のが清掃、消毒を行う。
- 鍋、フライパン、調理器具などのキッチン用品は、各滞在の間に洗浄、消毒する。
- 利用客の入れ替え時前にキャビネット内にあるものを含め、すべての皿を洗浄する。可能であれば、調理器具を使い捨て食器に置き換えることを検討する。
- 一人用コーヒーマーカーには、ガラス製品、コーヒークップ、マルチカップメーカーの代わりに使い捨てカップを用意する。
- ミニバーは利用不可とする。すべての製品は除去する。
- 到着時に、十分な食器用洗剤と新しい未使用のスポンジ、消毒用ワイプを各利用客に提供する。
- 冷蔵庫の棚、オーブンコンロ、コーヒーマーカー、トースター、パントリーの棚など、すべての電化製品とキッチンエリアは、ゲストが滞在するたびに掃除する。
- 雑誌、メニュー、地元のアトラクションの詳細、クーポンなどの再利用可能な販売促進資料は客室に設置しない。重要な情報は、使い捨ての資料として提供するか、電子的に掲載する。
- ハウスキーピングの従業員は、汚れたリネンを取り除くときに着用する手袋を提供されている。汚れたリネンは使い捨ての密封バッグに入れる。
- すべてのタオルとリネンは、使用されたかどうかに関わらず、各利用客の滞在の最後に取り除き、洗濯する。
- すべての寝具と洗濯物は[CDCガイドライン](#)に従って高温で洗濯、洗浄する。
- 客室が使用されていないときに、すべての非必須メンテナンスを予定する。可能な場合は適用法で認められている緊急または早急に解決すべき問題のみを処理する。

短期レンタル施設に関する考慮事項

- 可能であれば、セルフチェックインまたは遠隔操作によるチェックインとチェックアウトを提供する。
- 標準のチェックインおよびチェックアウト時間が実装されており、利用客間の清掃プロセスを強化している。
- レンタルユニットは、各ゲストの滞在後に徹底的な清掃および消毒を行う。これには、ベッドの手すり、テーブル、テレビのリモコン、ヘッドボード、カウンター、台所用品、冷蔵庫の取っ手、コンロのスイッチ、鏡、その他のアイテムを含む、すべての頻繁に触れる場所の拭き掃除、および清掃と消毒が含まれる。
- すべてのリサイクル、およびゴミは、利用客の滞在の間に除去する。これには、冷蔵庫、冷凍庫、パントリーに残っている可能性のある食品の除去と廃棄が含まれる。
 - ゴミ箱には使い捨ての袋が入れられている。
- 洗濯物入れは、使用するたびに洗浄および消毒する。
 - 洗濯物入れは、使い捨ての物にするか、または使用後に毎回洗濯できるバグライナーで裏打ちされている物を使用する。
- 使用されていないように見えるものも含むすべてのリネンを、各滞在の利用客の滞在ごとに除去し、洗濯している。
 - 汚れたリネンを取り除くときは手袋を着用する。汚れたリネンは使い捨ての密封バッグに入れる。
 - 手袋を外したら直ちに、石鹸で手を洗うか、手指消毒剤を使用する。
- レンタルユニットに余分なリネンを保管しない。これらのアイテムは、要求があった場合にのみ提供する。
- すべての寝具と洗濯物は[CDCガイドライン](#)に従って高温で洗濯、洗浄する。
- すべての柔らかい物の表面は、製造元の指示に基づいて洗浄する。これには、カーペット、寝具、カーテン、室内装飾品などが含まれる。
- 鍋、フライパン、調理器具などのキッチン用品は、各滞在の間に洗浄、消毒する。

- 利用客と次の利用客の滞在の間にキャビネット内にあるものを含め、すべての皿を洗浄する。可能であれば、調理器具を使い捨て食器に置き換えることを検討する。
- 掃除機にはHEPAフィルターが装備されている。可能であれば、床の掃除にはほうきではなく、掃除機を使用する。
- バスルームのトイレ、シャワー、浴槽、流し台、キャビネット、および棚には、COVID-19の使用が承認された多表面クリーナーをスプレーする。鏡とガラスは適切に拭き掃除を行う。バスルームの床はモップや掃除機で清掃する。
- レンタルユニットには、追加のハンドソープ、ペーパータオル、トイレットペーパー、消毒スプレーまたはワイプ、および手指消毒剤を設置している。
- 外部または専門の清掃会社を利用する場合、清掃および消毒の基準が遵守されていることを定期的に確認する。
- 滞在前と滞在中の清掃と安全対策については、掲示および施設案内の小冊子で通知する。
- レンタルユニットが使用されていないときに、すべての非必須メンテナンスを予定する。可能な場合は適用法で認められている緊急または早急に解決すべき問題のみを処理する。
- HVAC システムは正常に機能し、可能な限り最大限に換気を良くしている。ろ過効率の高いフィルターが使用され、定期的に交換されている。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- 本手順のコピーを、施設のすべての公共の入口に掲示している。
- 施設のポリシーと手続きについて到着前に利用者に通知している。これには、症状のある利用者のいるグループの予約をキャンセルする権利、新しいチェックイン手順、物理的距離の要件、および宿泊施設、アメニティ、共有エリアの清掃と消毒のスケジュールが含まれる。
- 6フィートの物理的距離の確保、布製フェイスカバーの着用、施設に入る際の手洗いまたは手指消毒剤の使用、病気やCOVID-19と一致する症状がある場合は自宅待機をすることを利用者や公衆に促す標識が掲示されている。
 - フェイスカバーを持っていない顧客には、ホテルに入る際にフェイスカバーを提供する。
- エレベーター内の看板には、最大乗員定数、および布の表面カバーを着用する必要がある旨を掲示しています。エレベーターには、一回当たりの定員数およびエレベーターに乗る人は全員布製フェイスマスクを着用することを伝える看板を掲示する。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- クライアントにとって重要なサービスを優先している。
- 遠隔操作で提供できるトランザクションまたはサービスはオンラインに移行する。
- 移動が制限されている、または公共スペースにいて病気になるリスクが高い顧客のための商品およびサービスへのアクセスを確保するための対策を講じている。

企業は 上記に含まれていない追加対策について別紙に記載し本文書に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は以下の者までご連絡ください。

企業担当者名:

電話番号:

最終更新日:
